



インフラと物価、為替と金融

令和7年3月16日

黒田インターナショナル コンサルティング LLC

黒田 毅

これらは完全な経済の転換が存在することを意味するものである。

これらは新たな生産性と技術がコアコンピタンスを永続し、新たな資本力はさらなる未来を模索するのである。

そしてグローバル経済はその統一を有し、それらは為替と金融において統一されるのである。そして、巨大資本がそれをコントロールするのである。

既存給与水準は2分化し、新たなエリートはその垂涎を得るのである。

これらは競争原理が与える現実なのである。それにおいてこれら新しい現実において自己の勝利を求め、自己を有することが唯一与えられた選択であることは理解しなくてはいけない。

敗者が未来を与えることは永遠に不可能なのである。

これらは、必ず競争が生み出す現実である。しかしその勝利を否定することはできないのである。

優れたものが必ず勝利するのである。この進歩のスパイラルは世界の歴史における現実であり真実である。

しかしそれらは生存と競争において存在するのである。これは生存を離れることが、生存という原始的本能を離れることであるという理解は存在するのである。

これらは、企業が生存を保証し、創造性という現実を行うとき、新しい可能性という未来すなわち希望を得ることは真実であると考える。

これらは企業の大きな努力が生み出す自己への最大のボーナスである。これらを行う価値が必ず存在するはずである。それは経営判断において実現できるのである。